

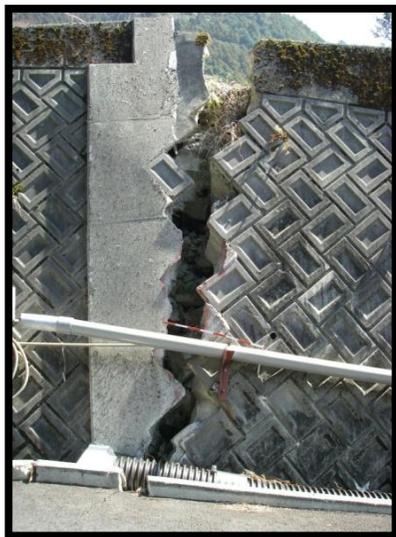
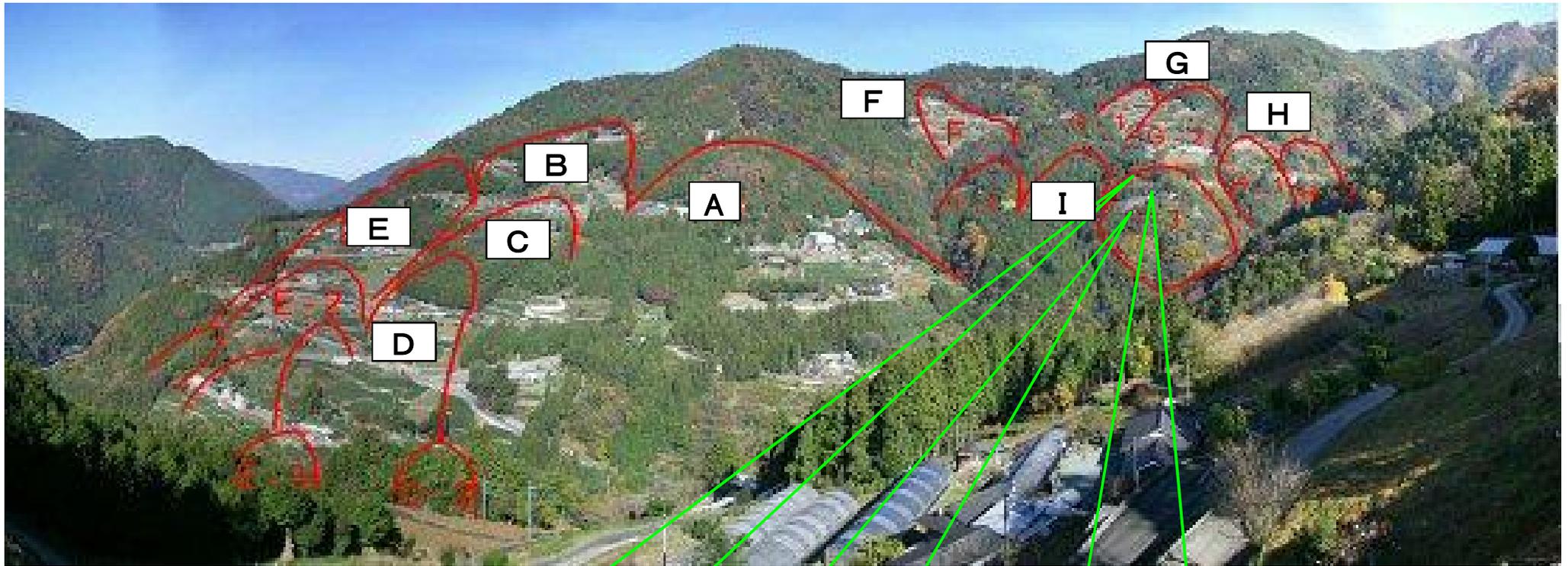
再評価【番号17】

有瀬地すべり防止区域
地すべり対策事業

1. 事業箇所



2. 全景写真および変状状況



道路擁壁のクラック

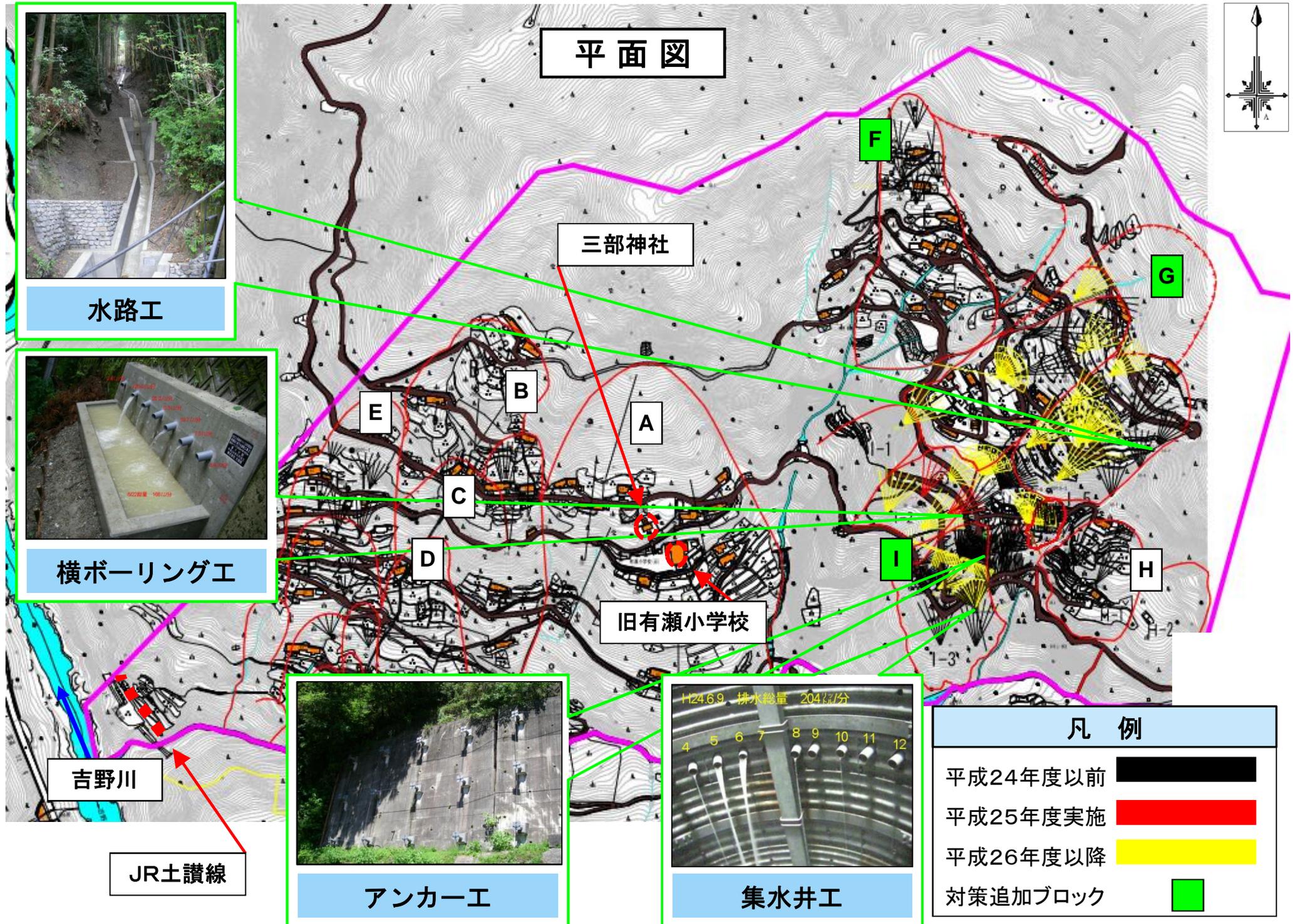


道路擁壁のクラック



頭部の陥没

3. 事業の進捗状況



平面図



水路工



横ボーリング工



アンカー工



集水井工

凡例	
平成24年度以前	■
平成25年度実施	■
平成26年度以降	■
対策追加ブロック	■

三部神社

旧有瀬小学校

吉野川

JR土讃線

E

B

A

C

D

I

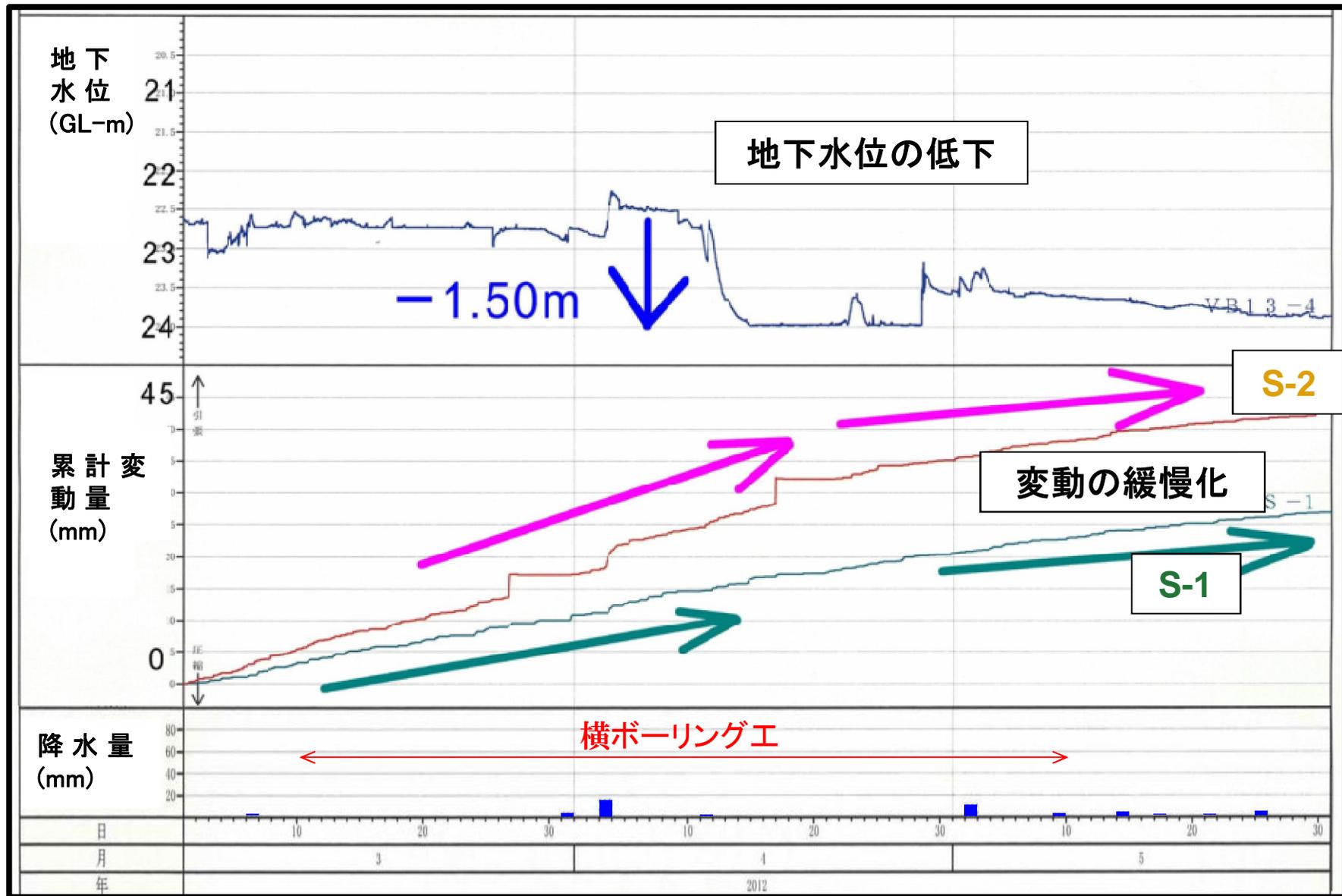
H

F

G

4. 対策工の効果

Iブロック観測結果



5. 事業再評価結果

貨幣換算可能な整備効果

従来のB/C

- ・一般資産被害軽減
- ・農作物被害
- ・公共土木施設被害軽減
- ・公益事業施設被害軽減
- ・人的被害軽減
- ・交通途絶費用軽減
- ・応急対策費用軽減
- ・精神的被害軽減

計**117.8億円**
(現在価値化後)

その他の便益

森林の公益的機能の保全

危険区域内の森林面積92ha **119.6億円**

※費用C=47.3億円(現在価値化後)

$$B/C = 2.5$$

(参考)その他の便益を含めたB/C=5.0

貨幣価値に表れない整備効果

安全・安心

■ 停電による波及被害の防止

- ・有瀬地区を通る電線や電柱を保全し、停電による住民の生活への波及的な被害を防止



対象人家57戸

→安全・安心の向上

生活用水

■ 生活用水の安定的な確保

- ・区域内にある貯水タンクなどの簡易水道施設も保全し、生活用水の安定的に確保



対象人家57戸

→利便性の向上

事業継続